

「平成25年度地球温暖化防止活動 環境大臣表彰」受賞について

東京海上日動火災保険株式会社(社長 永野 毅、以下「当社」)は、1999年より実施している「マングローブ植林活動」の取組みにおいて、「平成25年度地球温暖化防止活動 環境大臣表彰(国際貢献部門)(※)」を受賞しましたので、お知らせします。

(※)「地球温暖化防止活動 環境大臣表彰」は、環境省が地球温暖化対策を推進するための一環として、毎年地球温暖化防止月間である12月に、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人又は団体に対し、その功績を表彰する制度です。

1. 当社の「マングローブ植林活動」の取組み

当社では1999年よりNGOと連携したマングローブ植林活動を継続しており、2013年3月末までに東南アジア6カ国、南アジア2カ国、フィジーの計9カ国で約7,993ha(100m道路で、東京から岡山までの距離に相当する面積)を植林して参りました。

また、2009年からは「Green Gift」プロジェクトを展開し、「ご契約のしおり(約款)」を冊子ではなく、ホームページ上でご確認いただく方法をお客様にご選択いただいた場合、紙資源の使用量削減額の一部を、マングローブ植林に寄付する取組みを開始しており、さらに2013年10月からは、寄付の対象を国内の環境保護活動にも拡大しています。

2. 植林の効果と今後の活動

植林活動を通じて、地球温暖化防止、生物多様性の保護のみならず、地域経済・社会への貢献、環境啓発・人材育成、地域・社会の安全、お客様・社会との協働など、社内外の「ステークホルダー」に対し、多様な効果を生み出しています。

当社は地球の未来を守るこの事業を、100年継続することを目指しています。



マングローブ植林の様子

なお、「表彰式」「受賞者フォーラム」は、12月4日にKKRホテル東京(東京都千代田区)で行われる予定です。

以上